

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和3年3月25日(2021.3.25)

【公表番号】特表2018-519402(P2018-519402A)

【公表日】平成30年7月19日(2018.7.19)

【年通号数】公開・登録公報2018-027

【出願番号】特願2018-500354(P2018-500354)

【国際特許分類】

C 08 L 33/06 (2006.01)

C 08 L 101/04 (2006.01)

C 08 K 3/00 (2018.01)

【F I】

C 08 L 33/06

C 08 L 101/04

C 08 K 3/00

【誤訳訂正書】

【提出日】令和3年2月10日(2021.2.10)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

a) (メタ)アクリルコポリマー(A1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A1a)及び(A1b)の混合物

b) フィラー(F)又は2種のフィラー(F1)及び(F2)の混合物

c) ハロゲン含有熱可塑性ポリマー

を含む組成物において、

(メタ)アクリルコポリマー(A1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A1a)及び(A1b)の混合物のガラス転移温度Tgが105未満であり、フィラーF又は2種のフィラー(F1)及び(F2)の混合物の量が、ハロゲン含有熱可塑性ポリマーに対して1phr~250phrであることを特徴とし、

フィラー(F)の一部又は2種のフィラー(F1)及び(F2)の混合物の一部が、(メタ)アクリルコポリマー(A1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A1a)及び(A1b)の混合物を含む組成物に添加され、フィラー(F)の他の部分又は2種のフィラー(F1)及び(F2)の混合物の他の部分が、ハロゲン含有熱可塑性ポリマーとは別個に組成物に添加されるか、又は既にハロゲン含有熱可塑性ポリマーと共に存在する状態で組成物に添加され、

フィラー(F)又は2種のフィラー(F1)及び(F2)の混合物の少なくとも一部が、炭酸カルシウム、焼成クレー、シリカ(ヒュームド又は沈降)、クレー、モンモリロナイト(ナノクレー)、ゼオライト又はパーライトから選択される鉱物フィラーである、組成物。

【請求項2】

フィラー(F)又は2種のフィラー(F1)及び(F2)の混合物の量が、ハロゲン含有熱可塑性ポリマーに対して2phrより多い、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

ハロゲン含有熱可塑性ポリマーに対して2phr~200phrのフィラー(F)又は

2種のフィラー（F1）及び（F2）の混合物を含む、請求項1又は2に記載の組成物。

【請求項4】

ハロゲン含有熱可塑性ポリマーに対して0.01phr～20phrの（メタ）アクリルコポリマー（A1）又は2種の（メタ）アクリルコポリマー（A1a）及び（A1b）の混合物を含む、請求項1から3の何れか一項に記載の組成物。

【請求項5】

ハロゲン含有熱可塑性ポリマーに対して0.15phr～4phrの（メタ）アクリルコポリマー（A1）又は2種の（メタ）アクリルコポリマー（A1a）及び（A1b）の混合物を含む、請求項1から3の何れか一項に記載の組成物。

【請求項6】

フィラー（F）又は2種のフィラー（F1）及び（F2）の混合物が炭酸カルシウムから選択される、請求項1から5の何れか一項に記載の組成物。

【請求項7】

（メタ）アクリルコポリマー（A1）又は2種の（メタ）アクリルコポリマー（A1a）及び（A1b）の混合物が、メタクリル酸メチルを少なくとも50重量%含むコポリマーから選択される、請求項1から5の何れか一項に記載の組成物。

【請求項8】

メタクリル酸メチル由来のポリマー単位を少なくとも50重量%含む（メタ）アクリルコポリマー（A1）又は2種の（メタ）アクリルコポリマー（A1a）及び（A1b）の分子量Mwが少なくとも300000g/molである、請求項7に記載の組成物。

【請求項9】

メタクリル酸メチル由来のポリマー単位を少なくとも50重量%含む（メタ）アクリルコポリマー（A1）又は2種の（メタ）アクリルコポリマー（A1a）及び（A1b）の分子量Mwが2000000g/mol未満である、請求項7に記載の組成物。

【請求項10】

メタクリル酸メチル由来のポリマー単位を少なくとも50重量%含む（メタ）アクリルコポリマー（A1）又は2種の（メタ）アクリルコポリマー（A1a）及び（A1b）の分子量Mwが1000000g/mol～1200000g/molである、請求項7に記載の組成物。

【請求項11】

（メタ）アクリルコポリマー（A1）又は2種の（メタ）アクリルコポリマー（A1a）及び（A1b）の混合物のガラス転移温度Tgが、60～105である、請求項1から10の何れか一項に記載の組成物。

【請求項12】

（メタ）アクリルコポリマー（A1）又は2種の（メタ）アクリルコポリマー（A1a）及び（A1b）の混合物のガラス転移温度Tgが、70～100である、請求項1から10の何れか一項に記載の組成物。

【請求項13】

ハロゲン含有熱可塑性ポリマーが、少なくとも50重量%の塩化ビニル単位を含む塩化ビニルのホモ又はコポリマーから選択される、請求項1から3の何れか一項に記載の組成物。

【請求項14】

組成物P1をハロゲン含有ポリマー及びフィラー（F）又は（F2）と混合する工程を含む、請求項1、4から10、及び13の何れか一項に記載の組成物を調製する方法について、

組成物P1が、（メタ）アクリルコポリマー（A1）又は2種の（メタ）アクリルコポリマー（A1a）及び（A1b）の混合物とフィラー（F）又は（F1）とを含み、

（メタ）アクリルコポリマーのガラス転移温度Tgが105未満であり、フィラー（F）又は（F1）及び（F2）の併せた量がハロゲン含有熱可塑性ポリマーに対して1phr～250phrであることを特徴とする、方法。

**【請求項 15】**

2種の組成物P1及びP2を混合する工程を含む、請求項1、4から10、及び13の何れか一項に記載の組成物を調製する方法において、

組成物P1が、(メタ)アクリルコポリマー(A1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A1a)及び(A1b)の混合物とフィラーF又はF1とを含み、

組成物P2がハロゲン含有ポリマーとフィラーF又はF2とを含むことを特徴とし、

(メタ)アクリルコポリマー(A1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A1a)及び(A1b)の混合物のガラス転移温度Tgが105未満であり、フィラーF又はF1及びF2の併せた量が、ハロゲン含有熱可塑性ポリマーに対して1phr～250phrであることを特徴とする、方法。

**【請求項 16】**

組成物P1が、

a)少なくとも1種の(メタ)アクリルコポリマー(A1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A1a)及び(A1b)の混合物を少なくとも1種のフィラー(F)又は(F1)と混合する

工程を含む製造方法によって得られ、

工程a)における(メタ)アクリルコポリマー(A1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A1a)及び(A1b)の混合物とフィラー(F)又は(F1)が水性相中の分散体の形態であることを特徴とする、請求項14又は15に記載の方法。

**【請求項 17】**

組成物P1が、

a)少なくとも1種の(メタ)アクリルコポリマー(A1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A1a)及び(A1b)の混合物を少なくとも1種のフィラー(F)又は(F1)と混合し、

b)a)において得られた混合物を回収し、

c)工程b)の回収された混合物を乾燥させる

工程を含む製造方法によって得られ、

工程a)における(メタ)アクリルコポリマー(A1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A1a)及び(A1b)の混合物と鉱物フィラーが水性相中の分散体の形態であることを特徴とする、請求項14又は15に記載の方法。

**【請求項 18】**

組成物P1が、(メタ)アクリルコポリマー(A1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A1a)及び(A1b)の混合物とフィラーとからなる完全組成物P1に対して、1重量%～50重量%のフィラー(F)又は(F1)を含むことを特徴とする、請求項14から17の何れか一項に記載の方法。

**【請求項 19】**

組成物P1が粉末の形態であることを特徴とする、請求項14から18の何れか一項に記載の方法。

**【請求項 20】**

組成物P1が、1μm～500μmの体積メジアン粒径D50を有する粉末の形態であることを特徴とする、請求項14から19の何れか一項に記載の方法。

**【請求項 21】**

組成物P1が、1種の(メタ)アクリルコポリマー(A1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A1a)及び(A1b)の混合物を少なくとも1種のフィラー(F)又は(F1)と共に含む組成物P1全体にわたって大きな変動を持たない均一な粉末であり、組成物P1の変動がP1から採取されたP1の1重量%サンプルの全体組成物P1に対して30%未満であることを特徴とする、請求項14から20の何れか一項に記載の方法。

**【請求項 22】**

組成物P1の各粉末粒子又は粒が、(メタ)アクリルコポリマー(A1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A1a)及び(A1b)の混合物とフィラーの二成分を含む

ことを特徴とする、請求項1\_9から2\_1の何れか一項に記載の方法。

【請求項23】

メタクリル酸メチル由来のポリマー単位を少なくとも50重量%含む(メタ)アクリルコポリマー(A1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A1a)及び(A1b)の分子量Mwが1000000g/mol~1200000g/molであることを特徴とする、請求項1\_4から2\_2の何れか一項に記載の方法。

【請求項24】

(メタ)アクリルコポリマー(A1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A1a)及び(A1b)の混合物のガラス転移温度Tgが60~105であることを特徴とする、請求項1\_4から2\_2の何れか一項に記載の方法。

【請求項25】

組成物P2が1phr~250phrのフィラー(F2)を含むことを特徴とする、請求項1\_5に記載の方法。

【請求項26】

(メタ)アクリルコポリマー(A1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A1a)及び(A1b)の混合物とフィラーF又はF1とを含む組成物P1の、ハロゲン含有ポリマーとフィラー(F)又は(F2)とを含む組成物の溶融時間を減少させるための使用において、(メタ)アクリルコポリマー(A1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A1a)及び(A1b)の混合物のガラス転移温度Tgが105未満であり、フィラーF又は2種のフィラー(F1)及び(F2)の混合物の量がハロゲン含有熱可塑性ポリマーに対して1phr~250phrであることを特徴とし、

フィラー(F)又は2種のフィラー(F1)及び(F2)の混合物の少なくとも一部が、炭酸カルシウム、焼成クレー、シリカ(ヒュームド又は沈降)、クレー、モンモリロナイト(ナノクレー)、ゼオライト又はパーライトから選択される鉱物フィラーである、使用。

【請求項27】

(メタ)アクリルコポリマー(A1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A1a)及び(A1b)の混合物とフィラーF1とを含む組成物P1の、ハロゲン含有ポリマーとフィラーF2とを含む組成物P2の溶融時間を減少させるための使用において、(メタ)アクリルコポリマー(A1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A1a)及び(A1b)の混合物のガラス転移温度Tgが105未満であり、2種のフィラー(F1)及び(F2)の量がハロゲン含有熱可塑性ポリマーに対して1phr~250phrであることを特徴とし、

フィラー(F)又は2種のフィラー(F1)及び(F2)の混合物の少なくとも一部が、炭酸カルシウム、焼成クレー、シリカ(ヒュームド又は沈降)、クレー、モンモリロナイト(ナノクレー)、ゼオライト又はパーライトから選択される鉱物フィラーである、使用。

【請求項28】

請求項1から1\_3の何れか一項に記載の組成物を含む物品。

【請求項29】

物品が、形状品、パイプ、サイディング、フローリングフィルム又はシートであることを特徴とする、請求項2\_8に記載の物品。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0050

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0050】

本発明によれば、フィラー(F)の一部又は2種のフィラー(F1)及び(F2)の混

合物の一部が、(メタ)アクリルコポリマー(A1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A1a)及び(A1b)の混合物を含む組成物に加えられる。フィラー(F)の他の部分又は2種のフィラー(F1)及び(F2)の混合物の他の部分は、ハロゲン含有熱可塑性ポリマーとは別個に組成物に添加されるか、又は既にハロゲン含有熱可塑性ポリマーと共に存在する状態で組成物に添加される。「既にハロゲン含有熱可塑性ポリマーと共に存在する」とは、フィラー(F)の一部又は2種のフィラー(F1)及び(F2)の混合物の一部を含む(メタ)アクリルコポリマー(A1)又は2種の(メタ)アクリルコポリマー(A1a)及び(A1b)の混合物が添加される前に前記フィラー(F)の他の部分又は2種のフィラー(F1)及び(F2)の混合物の一部が、ハロゲン含有熱可塑性ポリマーに添加されることを意味する。